

町民の声



金山厚生会「みすぎ荘」
理事長
岸 知己さん
(十日町・68歳)

金山町史新発見

イギリス人の女性旅行家イザベラ・バードに関しては、機会ある度に町のパンフレット等である程度理解していましたが、以前私の友人から伊能忠敬が金山町に宿泊しているのその場所を調査してくれと依頼がありました。私も依頼されて、歴史的な事実を初めて知ったところ
です。

今更言うまでもありませんが、伊能忠敬(1745~1818年)は精密な日本地図を内陸まで入って作製したことで有名です。

当時の金山村には1802年8月10日に本陣柴田九左衛門(1876年の町並み略図では柴田九平治)宅に宿泊し、翌日は及位村の高橋作右衛門宅に宿泊している歴史的事実があります。

そこで、町の観光案内スポットとして、イザベラ・バードより76年前に金山町を訪れている偉人、伊能忠敬の宿泊跡地に記念碑や案内板等を建てたら、町内外からの観光客にアピールできるのではないかと思います。

また、イザベラ・バードも同じ本陣に

宿泊しているのも偶然でしょうか。是非とも実現に向けて関係皆様方にご期待申し上げます。

町議会議員と語る会の開催

2月9日、2年ぶりに「みすぎ荘」の役員と意見交換を実施して頂き誠にありがとうございました。介護施設の山積している課題、今後の町の将来展望等について活発な意見が出たところです。

私見ですが、2025年には団塊の世代が75歳以上となり、町の高齢化率は急激にアップし、減少する人口に対する占有率が高くなりますので、これからは介護予防の充実と地域(集落)参加型の推進、町民の主体性を尊重しつつ参加機会づくりと孤立化の防止、コミュニケーションの活発化等を図る必要があると思います。

例えば、既に実施している地域の主要な公民館等を高齢化に対応できるようにバリアフリー化するため、まずはモデル公民館を一ヶ所つくり活用してみるとか、新しくなる中央公民館に高齢者が集えるコミュニケーションを提供するなどして、健康で元気に明るく楽しい人生を送れるように願うところであります。今回も大変有意義な語る会でした。



議会豆知識 No.12

●特別委員会について

特に重要な事件や常任委員会の所管に属さない、または2つ以上の常任委員会にまたがるような事件であって、特別の構成員により集中的に審査する必要がある場合や委員外議員の発言等の運用ではその目的が達せられないと判断される場合に条例で設置できる。

町議会では、委員会条例の第5条に特別委員会の設置が規定されており、①必要がある場合に議会の議決で設置すること、②委員の定数は議会の議決で決めること、③付議された事件が審議されている間は委員として在任することになる。

一般的には、「予算議会」と言われる3月議会での予算特別委員会と「決算議会」と言われる9月議会での決算特別委員会があり、いずれも2日間にわたって全議員を構成委員として集中審議が行われている。

その他にも、資格決定や懲罰に関する動議が提出された場合は、資格審査特別委員会及び懲罰特別委員会を必ず設置することになる。

6月議会定例会は6月5日(火)~8日(金)の予定です 町民の皆様の傍聴をお待ちしています

ギインコラム No.6

応援の声

●前回の議会報告会での「議会アンケート調査」では、議会だよりを「毎回読む」「大まかに読む」を合わせると85%。多くの方が関心を持って読んで下さっている。

●編集委員は5人のみ。手分け作業で記事をまとめ、校正会議も数回おこなうなど、プロも顔負けだ。

●新年度がスタートした。金山町は全国の自治体で初となる「情報公開」の町だ。議会だよりからも町づくりの相違点が読み取れる編集に、今後も創意工夫を重ねて頂きたい。
(須藤 典夫)

発行責任者

■ 議会議長 柴田 清正

議会広報常任委員会

■ 委員長 沼澤 道也
■ 副委員長 中村 忠行
■ 委員 高橋 芳夫
高橋 浩樹
早坂 憲明

* * * * *